

9 消防・防災

1 消防本部・署

消防本部人員

(単位：人)

区 分	新居浜市	別子山村	計
警防要員	58		58
予防要員	11		11
その他要員	47	45	92
計	116	45	161
消防本部等の数	3		3

13・4・1現在

消防車両・資機材等

(単位：台)

区 分	新居浜市	別子山村	計
ポンプ自動車	5		5
水槽付ポンプ自動車	2		2
梯子自動車	2		2
化学自動車	2		2
救助工作車	2		2
泡原液搬送車	1		1
小型動力消防ポンプ付水槽車	10		10
指令車	1		1
調査車	1		1
警防車	2		2
小型動力消防ポンプ積載車	3	4	7
広報車	1		1
救急自動車	5		5
消防専用超短波無線電話			
基地局固定局	1		1
移動局	28		28
携帯	24		24
一斉指令装置	1		1

13・4・1現在

現状

別子山村の消防事務については、負担金を支払い、宇摩地区消防本部に委託している。

- (1) 救急発生時は嶺南分遣所の救急車で対応している。
- (2) 火災発生時は宇摩地区消防本部の消防ポンプ自動車と別子山村消防団の小型動力ポンプ(4 台) で対応している。

課題

- (1) 現状どおり宇摩地区消防本部に事務委託するのか。
- (2) 新に別子山村に分遣所等を設置するのか。
- (3) 南署の管轄エリアとして対応していくのか。(南署から別子山村役場まで約 4 0 分要する)

以上 3 方法のどれにするかによって大きく変わっていくが、消防職員数、消防用資機材の整備、消防施設の整備、消防無線の整備、119 入電先等が大きな課題となると考えられる。

2 消防団

消防団

(単位 : 人)

	分団数	定 数	実 数	住民基本台帳人口 (H13.3.31)	定数 1 人あ たり人口
新居浜市	16	712	712	128,337	180
別子山村	3	50	45	291	6
計	19	762	757	128,628	169

平成13年4月1日現在

報酬 (年報酬)

(単位 : 円)

区分	新居浜市	別子山村
団長	206,700	91,000
副団長	154,900	62,000
分団長	132,600	46,000
副分団長	71,500	35,000
部長	57,100	
班長	32,300	30,000
団員	27,500	23,000

出動手当等 (単位：円)

区分	新居浜市	別子山村
家屋火災出動	*1,950	8,000
山林火災出動	*2,530	8,000
水防出動	*2,530	8,000
警戒出動	*1,820	8,000
訓練出動	*1,820	4,000
機関員手当 (月額)	1,550	
被服損料 (年額)	2,970	
整備手当 (ポンプ車)		-
整備手当 (積載車)		2,000
整備手当 (小型ポンプ車)		2,000

*については、1回当たりの手当額

現状

(1) 別子山村消防団は小型動力ポンプ(4台)と積載車(4台)を所有しているが、消防ポンプ自動車は所有していない。

(2) 定数については、新居浜市は充足しているが、別子山村は充足していない。

課題

- (1) 消防団員の定数、分団の編成、管轄エリア等の見直し
- (2) 消防団詰所等の施設の整備
- (3) 消防車両を含む消防用資機材装備の整備と配置
- (4) 各種行事等の見直し
- (5) 年報酬、出動手当等の調整

3 治安

警察署等の配置状況

	警察署	交番	駐在所
新居浜市	新居浜警察署	5	7
別子山村	三島警察署		1

現状

新居浜市警察署、交番 5、駐在所 7

別子山村 三島警察署管轄、駐在所 1

課題

別子山村に駐在所の存続

効果

新居浜警察署管轄での駐在所存続により、有事における治安体制の強化